

長与江里奈 Erina NAGAYO

人間はだいたいみんな、皮むいたら変。

社会性・肩書・役割・キャラ…と言った皮をむいたら現れる、ぷりんとした生なあなたに興味があります。

素材なあなた、皮むき器な私と一緒に変で愛しい料理を作りましょう。



平成30年度公共ホール現代ダンス活性化事業(神戸市) Photo:Nitta sayaka



令和2年度公共ホール現代ダンス活性化事業(神戸市) Photo:Nitta sayaka



Photo:Tomoyuki Kobayashi

プロフィール

舞台芸術集団「山猫団」主宰・演出家。

「伊藤キム+輝く未来」「まことクラヴ」にて国内・国外の様々な劇場のみならず、ライブハウス、商店街、美術館、廃墟などありとあらゆる場所でパフォーマンスをしてきた経験を生かし、ソロパフォーマーとしても活動中。ダンスを通して誰もがお互いの個性と自由を認められるコミュニティを作ることを目標に、日本各地で公演活動とワークショップを行う。愛鳥のセキセイインコと遊ぶのが日々の癒し。

所属カンパニー 山猫団
 ホームページ www.ynd.tokyo
 連絡先(担当) 長与江里奈
 住所 〒180-0014
 東京都武蔵野市関前3-31-4
 電話 090-3538-6145
 E-mail mail@erinagai.com
 アーティスト在り地 東京都武蔵野市
 アーティスト出身地 東京都武蔵野市



Photo:Tomoyuki Kobayashi

【活動歴】

〈1999年～2003年〉伊藤キム+輝く未来ダンサー
 〈2001年～〉まことクラヴとして活動
 〈2011年〉ソロ活動開始
 〈2012年〉『吟子と踊ろう』-大分・別府「混浴温泉世界」
 〈2013年〉「山猫団」結成。
 『山猫団あらわる』-東京・立川
 〈2014年〉山猫団『のいちのぼうけん』-石川・野々市
 山猫団『ファンタスティック金沢編』-石川・金沢
 山猫団『ノスタルジック岡山編』-岡山・岡山
 〈2015年〉『吟子と踊ろう』-大分・別府「混浴温泉世界」
 山猫団『岡の上のサーカス』-神奈川・川崎
 (一般市民参加作品)
 〈2016年～2018年〉「岡の上のサーカス」神奈川県
 市民参加型公演を3年連続上演

【ワークショップ歴】

〈2015年〉「山猫音楽会 スパイシ国のクリスマス」
 金沢市浅野町児童館
 〈2016年〉「みんなの芸術文化体験事業」
 大分県内児童養護施設・小学校2校
 〈2017年〉「児童生徒のコミュニケーション能力の育成に資する
 芸術表現体験事業」都内特別支援学級
 「白熱ダンス教室！」静岡県三島市 親子向け
 〈2018年〉「東京芸術祭2018野外劇 三文オペラ 関連WS」
 「世田谷パブリックシアター 演劇部 中学生の部」
 〈2019年〉「子どものための文化体験事業」東京都豊島区
 「子ども芸術体験ワークショップ」東京都豊島区
 「アンデルセン公演 子ども美術館」スタッフ研修
 〈2020年〉「Scale Laboratory」静岡県高校演劇部2校・保育園
 「オリンピック・パラリンピック教育推進事業」

「子供のための文化芸術体験機会の創出事業」
 〈2021年〉「2020国際子ども舞台芸術・未来フェスティバル」

〈2015年～〉「パフォーマンス・キッズ・トーキョー」東京
 〈2016年～〉「文化芸術による子供の育成事業」
 東京/神奈川/大分/沖縄
 「山猫式文化教室」(一般向け定期WS) 神奈川
 〈2017年～〉「豊島区次世代文化の担い手育成事業」豊島区
 〈2019年～〉「横浜市芸術文化教育プラットフォーム」横浜市

保育園・小学校・中学校・高校・特別支援学級でのワークショップ
 歴多数。

可能なワークショップ等のスタイル

開催場所や参加者の年齢・経験に関わらず、ワークショップの目的は同じです。

- ①ダンスと自分自身に対する思い込みを優しく壊す
- ②体を通して他の人とコミュニケーションをとる
- ③そこで出てきた素直な動きや反応、感情を肯定する

アウトリーチ

①学校でのアウトリーチ

小学校・中学校・高校(特別支援学級を含む)で実施。自己紹介ダンスを見せて、これがダンス!?!と驚き楽しんでもらうところから始まります。動きや声を真似する簡単なワークから始まり、最終的には誰の真似でもない自分のダンスを発見してもらいます。時間があればグループに分かれて短い創作をし、最後に発表します。

②ダンスや演劇などの部活やサークル

表現に関わる中高生・大学生対象。部活やサークル活動の中で実施。学校で行う内容に加えて、言葉を使わないコミュニケーションワークを重視。他の人と一緒に動こうとすることで生まれる体と心の動きに注目します。主語が「私」ではない表現を知ること、新しい視点を獲得してもらうことを目指します。

③会社・役所など社会人向け

歩く・止まるなど、普段運動をしない人でも無理なくできる動きから始め、手のひらを合わせる、体重をかけるなどのペアワークをします。あまり話したことのない人とも直接触れ合いながらコミュニケーションを取ることで心理的な壁を取り除き、お互いの新たな一面を発見することで、より円滑な関係を見出すことを目指します。

公募ワークショップ

公募ワークショップの内容や対象者は、各ホールの担当者さんと話し合って決めていきます。その施設をよく利用する層に向けての、逆にあまり足を運ばない人にアピールするのかが、そのホールの特性や課題に合わせて提案します。ダンス経験も年齢も不問ですが、初対面の人たちが集まるワークショップを円滑に進めるためには、保護者と離れてその場にいられること(年齢の目安として小学校3年生以上)が望ましいです。また、下見時にホール職員・アウトリーチ先の担当者・近隣文化施設の職員などを対象としたインリーチの実施をお勧めしています。実際にダンスワークショップを体験してその効果を実感すると、事業の意義がより深く理解でき、アウトリーチ先や公募ワークショップの応募者への説明も具体的になります。

この事業で可能な市民参加作品のスタイル

『〇月〇日』

ある一日の過ごし方には無限の選択肢がある中で、それまで出会うことなかった人たちがたった一日の本番に向けてともに作品を作る経験は、参加者、関係者のその後の人生に大きな影響を与えます。私たちはその日、共に舞台上立つことを選ぶという意味で、本番の日付をそのままタイトルにします。

既存のシーンに加え、集まった参加者を見て可能な限り多様なシーンを組み合わせて上演します。

▶市民参加の形態：市民参加作品(クリエイションワークショップ参加者との協働作品)ホール職員も出演するのが望ましい

▶上演環境：

(1) 会場の広さ：プロセニウムの舞台が望ましい。

間口6間×奥行4間以上
 (2) 床：可能ならリノリウム
 (3) 必要機材：ピアノ(グランドピアノが望ましいがアップライトでも可能)、箱馬(参加者の人数×2個)、その他は創作の過程で決定

この事業で可能な公演作品

①『それでも踊る』

全く何も無い舞台上に私服を着たダンサーが登場してコンテンポラリーダンスの特徴を説明するところから始まり、徐々に照明、音響、美術、音楽がその場で足されていって舞台が完成する。コロナ禍の緊急事態宣言下で急遽作られた神戸アートビレッジセンターとの協働作品を会場に合わせてリメイク。舞台やコンテンポラリーダンスに馴染みのない観客に向けた上演に適した作品。

▶上演時間：約70分

▶出演者数：3名(ダンサー2名、音楽家1名)

▶同行スタッフ：美術家

▶現地スタッフ：舞台監督：1名、照明：1名、音響：1名、

演出部(ボランティア可)：3～6名

▶上演環境：

(1) 会場：間口5間×奥行5間以上、バトンがあるかイントレか組めて通常の舞台作品が上演可能な場所。

(2) 床：可能ならリノリウム

(3) 必要機材：ピアノ(グランドピアノの蓋を外して使用)、ピンマイク、垂木5～7本、脚立、ヘルメット(劇場で用意)ノ吊り物4種、積み木(持ち込み・配送)

②『タイトル未定』(新作)

その地域、会場、時期に合わせて創作。お題に沿った一人芝居+ダンス+音楽のオムニバスから始まり、ピアニソンのソロ、ダンサーのソロと続

き、最後は前半の要素が全てミックスされたシーンで終わる。

リラックスした語り口から始まり、どんなお題からでも何かしらの表現を生み出すことでダンスや音楽の包容力を提示する。言葉、音楽、身体、美術など観客の興味に応じたとっかかりを多く用意し、表現活動や創作に対する意欲を刺激する。

この事業で挑戦してみたいこと

自分を表現する方法は色々ありますが、年齢・経験・言葉の理解度・障害の有無などがバラバラの人たちが集まる場において、それぞれが自分を表現しつつコミュニケーションを取るのにダンスはとても適しています。

新しい表現や未知の自分に出会う喜び、普段は蓋

をされていた言葉や気持ちやダンスを通して昇華されていく様子はとても美しく、そこにいる人たちが共有した時間は忘れたいものになります。そういう時間を一人でも多くの人に味わってもらうとともに、ホールの職員さんにも当事者として体感して頂きたいと思っています。広報や演出の

相談から公演への出演までありとあらゆる形で職員さんを遠慮なく巻き込み、ただ山猫団の作品を上演するのではなく、あくまでホールの目標達成のために山猫団が力を貸すという前提のもと皆で知恵を絞ることで、ダン活終了後の自主的な活動の糧となるものをあ渡したいと思っています。